

議 事 録

会議名		釧路市障がい者自立支援協議会 第4回 運営会
事務局		釧路市障がい福祉課 釧路市障がい者基幹相談支援センター
開催日時		令和7年3月19日（水）10:00～11:40
開催場所		釧路市役所 防災庁舎5階 会議室B
出席者	部会員	出席8名 相談支援部会～竹内副部長（地域支援センターつばさ） 山本副部長（サハス） 雇用就労部会～和泉部長（くしろジョブコミュニケーションセンターれぼぜ） 原田副部長（自立センター） 教育・療育部会～池田部長（釧路市児童発達支援センター） 高野副部長（サポートルーム のおと） 高橋副部長（放課後等デイサービス ゆ～ゆ～） 千田副部長（放課後等デイサービス シズクル）
	その他	
	事務局	出席7名 小池・西田・辻野・船坂（釧路市障がい福祉課） 柿沼・林・吉川（釧路市障がい者基幹相談支援センター） （敬称略）
会議次第		1 開 会 2 挨拶 3 議 事 （1）専門部会の活動状況について （2）今年度の振り返り （3）活動計画の提出について （4）障がい者地域生活支援拠点等事業について （5）令和7年度 運営会・定例会・全体会の日程について （6）その他 4 閉 会

議 事 内 容

1 開 会

2 挨拶

釧路市障がい者自立支援協議会運営会長 和泉 宣也

3 議 事

進行：運営会長 和泉 宣也

(1) 専門部会の活動状況について

○各専門部会より活動状況報告

<相談支援部会>

- ・ 2月6日 第3回相談支援部会開催。令和6年度の振り返り及び令和7年度活動計画について、部会員より意見を聴取。
- ・ 3月3日 役員会開催。令和7年度活動計画について及び令和8年度役員改選について協議。
- ・ 協力員を引き続き募り、部会を運営していく。

<生活支援部会>

- ・ 12月19日 第3回生活支援部会開催。
「虐待防止研修」講師：釧路市障がい者虐待防止センター 佐々木氏 参加36名
- ・ 2月26日 第4回生活支援部会開催。令和7年度活動計画について、部会前に実施したアンケートに基づきグループワークを実施し、協議。意思決定支援、高齢者の支援、困難事例の対応等の話題が出た。今後は、意見の多かった意思決定支援について、研修等を行っていく。

<権利擁護部会>

- ・ 3月10日 第3回権利擁護部会開催。
「合理的配慮について」講師：くしろ合同法律事務所 弁護士 阿相氏 参加10名

<雇用就労部会>

- ・ 12月17日 第4回雇用就労部会開催。
「ビジネスマッチング」参加企業：孝仁会記念病院、ニチイ学館、ベナレス
- ・ 2月25日 第5回雇用就労部会開催。令和6年度の振り返り、自立センター高谷所長に依頼し、「就労選択支援事業」について説明をいただいた。

<教育・療育部会>

- ・ 1月9日 役員会開催。次回の部会、医療的ケア児・者支援検討会議内容を協議。
- ・ 2月14日 第3回教育・療育部会、第2回医療的ケア児・者支援検討会議開催。
- ・ 事業所一覧は、今年度からデータ（自立支援協議会ホームページ）にて情報提供。
- ・ 令和7年度活動計画を協議、役員体制の確認。
⇒高野部会長が業務多忙につき、次年度の役員は、3名体制で臨む。
- ・ 次年度からは協議事項の要望書を参加案内と同時に送り、運営していく。

○委員からの質疑応答及び意見

なし

(2) 今年度の振り返り

○委員からの意見

<相談支援部会>

- ・他の部会とのコラボレーション研修も実施していきたい。
⇒（委員）他の部会とのコラボに関して、部会の役員会の中で、役員同士の顔合わせをして進めていけないか話題が出ている。
- ・一人事業所が多く、他の事業所との交流、意見交換を望む声があり、それに応える形で協力員として、参加していただいている。
- ・計画相談だけではなく、横の繋がりを深めたり、自分たちのスキルの底上げの必要性があったりで、コラボ研修等を含めた部会運営を検討している。
- ・運営会に課題を精査し、部会の総意としてあげていきたい。

<雇用就労部会>

- ・就労継続支援A型事業所や新規事業所の参加者が少なかったことが課題であったと感じている。
- ・ビジネスマッチングの研修は、実習に繋がる有意義なものとなった。
- ・部会実施までの準備が、役員同士で連携がうまくとれなかったことが、反省点としてある。
- ・コラボ研修については、令和7年10月から始まる「就労選択支援」に向けて、関係機関との連携がさらに必要になるので実施していきたい。
⇒（委員）「就労選択支援」については、児童の方は知らないので、ぜひコラボ研修を実施して欲しい。
- ・本年7月に、厚生労働省の鈴木専門官に来ていただいて研修を実施するので、ご案内したい。
- ・放課後等デイサービスと併用できることが大きなポイントであると思うので、自立支援協議会全体で周知をしていくことも考えていきたい。

<教育・療育部会>

- ・教育・療育部会では、こどもに関わる支援者で情報共有していくことが、ここ2～3年の大きなテーマであった。徐々に内容が細分化され、ピンポイントでの参加が多くなってきている。
- ・参加者の皆様に共通するテーマの選出が難しいことから、参加者からの協議内容の要望を募る形で運営していく予定。また、テーマによって細分化した際の運営も、今後は検討課題と考えている。
⇒（委員）細分化については、数年前に放課後等デイサービスを独立した動きで取り組んで実施していると思う。札幌市では、雇用就労部会は細分化されている。教育・療育部会の参加者が増加している理由はどう考えているのか。
- ・情報を知りたい事業所が増えていることが理由であると考えている。
- ・細分化は旭川市でも実施されており、テーマに応じて部会を組織し、解決したら解散していく形をとっている。誰がリードを取るのかが難しい運営方式であるが、課題解決に向けては有効な手法である。
- ・教育部門と放課後等デイサービス部門では、意見が違うところがあり、相互の理解

が進み、お互いに歩み寄れる機会が作ることができればと考えている。

⇒（委員）福祉と教育の垣根を越えて、通えるところがどこかしらあって自己実現できることが望ましいのではないかと考えている。

- ・コンサルテーションを入れているところでは、連携がうまくいっている地域が全国的に見ればある。

⇒（事務局）今年度、教育と福祉の連携推進地域の指定を受けており、課題を整理し、ルール作りをして、順序だてて進めていけばうまく行くのではと考えている。一緒に考えていく素地は年々できつつある。お互いの立場を尊重した関係性作りを進めていく。

- ・グレーゾーンのお子さんは、支援級にいと、一般高校の受験が難しいことがあり、そのことを学校から親御さんに伝えられていないケースがあり、難しさを感じている。

⇒（委員）まりーもの活用は。

- ・学校や先生によって、活用に差がある。

<振り返りまとめ>

- ・就労系事業所も拠点等機能事業所の登録ができるようになったことや、生活支援部会では、部会からの地域課題の提示に対して、市が対応を行うことがあったことから、この1年で、少しずつ自立支援協議会の役割を果たせていると考えている。

○委員からの質疑応答及び意見

なし

(3) 活動計画の提出について

- ・令和7年度活動計画の提出について、令和7年4月18日（金）までに、ご提出いただきたい。
- ・令和7年度第1回運営会は、4月22日（火）開催予定。

(4) 障がい者地域生活支援拠点等事業について

①障がい者地域生活支援拠点等事業の報告について

- ・釧路市障がい者地域生活支援拠点等事業について報告。
- ・拠点等事業における事前登録者数は2名。
- ・短期入所の定員超過利用による協力事業所数は10事業所。
- ・事業の振り返り（PDCA サイクル）として、障がいの程度が軽い方や診断名がない方、また、障がいの程度は重たいが、周りとの関わりを取ろうとしなかった方など、サービスに繋がっていない方からの相談が増加している。

②地域生活支援拠点等の機能を担う事業所の登録について

- ・地域生活支援拠点等の機能を担う事業所の登録の手引きを作成し、令和7年1月から運用開始している。
- ・10カ所の短期入所事業所が拠点等機能事業所として登録している。
- ・随時、登録を受け付けているので委員の皆様からも周知をお願いしたい。

○委員からの質疑応答及び意見

なし

(5) 令和7年度 運営会・定例会・全体会の日程について

- ・運営会 4月22日(火) 防災庁舎5階 会議室B
- ・定例会 5月30日(金) 防災庁舎5階 会議室A・B
- ・全体会 6月26日(木) 防災庁舎5階 会議室A・B

(6) その他

なし

4 閉 会